

# 松 風

## 福島県公立学校退職校長会

会長あいさつ…………… 1  
 評議員会報告…………… 2  
 論壇、令和6年度重点事項、他…………… 3  
 令和6年度役員名簿、理事会報告、他……… 4

〒960-8107 福島市浜田町4-16 富士ビル2階  
 TEL (024) 534-5411  
 FAX (024) 531-1195

### 会長あいさつ

## 「創立六十年、先達の熱き思いを継承した 人生百年時代に相応しい 本会活動の充実を目指して」



福島県公立学校退職校長会  
 会長 福 士 寛 樹

本会は、戦後二十年目という節目の昭和四十年四月九日、福島市「借楽亭」(福島県庁東側の紅葉山公園にあった。)において会員数三百八十六名で発足して、今年六十年を数える。折しも、令和五年度末に役職定年を迎えた校長先生方が、ちょうど生まれたころに設立されたことになる。どのような背景や理由、経緯から設立されたのであろうか。これまでに作成された「あゆみ」を紐解いてみた。

昭和三十年代当時の教育界においては、勤務評定阻止、教育課程反対、学力テストの阻止などの闘争、大学紛争、青少年非行など激動の時代だったことから、このような状況を憂い、教

育の正常化を望む声が高まり、本会の運動の目標として次の三点を挙げ、設立を目指したと記されている。

- 本県並びに日本教育の正しい発足に総力を結集する。
- 経済の変動に伴う恩給年金のスライド制を確立促進する。
- 会員相互の親睦を図り、同志の団結を深める。

設立に当たり、元県小・中学校長会長を発起人、県内の市町村小・中学校長会長を準備委員として、趣意書・入会申込書・会則案を作成し、県教委・市町村教委及び現職の県小・中学校長会の全面協力を得て、これらの書類を各学区内の居住する退職校長あてに配付

していた。校長が力を合わせて本会設立に力を注いだのである。また、全国的にも早期の設立で他に例を見ない優れた組織(十六支部がほぼ同時に発足、小中高の校種を一本化、行政機関との円滑な連携)として評価された。

現在、設立当時に比べ五倍に増えた二千六百名を超える会員が、各支部においてそれぞれのお立場で生き生きと活躍しているが、実は本会の会員数は、年々減少し続けている。その原因を探ってみると、学校の統廃合等による学校数減少に伴う校長数の減、現職の校長先生方の価値観の多様化や本会以外の諸団体への重複加入の会費負担感、年金受給までの勤務の必要性、地方公務員法の一部改正による退職年齢の延長など、入会を妨げている一因かと思われる。そういった外的要因を問題視するばかりでなく、私たちの活動が人生百年時代と言われる今に相応しいものか、私たちの活動する姿やその内容が魅力的かを絶えず評価し改善していく必要がある。

県事務局としては、広報誌「松風」の充実とともに、情報発信や事務の効率化を進めるためにDX(デジタルトランスフォーメーション)化を推進し、一昨年、念願のホームページを開設した。本会活動の概要や成果の紹介、県大会、現役支援や社会貢献活動の重要性、現役の声を反映させた関係機関への要望活動の様子や成果、研修、県内十六支部の活動の紹介などタイムリーにアップしている。

先日令和六年度の評議員会を開催し、活動内容や予算等が満場一致で承認された。県大会は、創立六十年記念大会として、六月十二日に「二本松御苑」で開催されることも承認された。また、第五十回東北地区退職校長会協議会福島大会も十月八、九日にホテル福島グリーンパレスで開催する。例年以上に忙しくなりそうであるが、今後とも設立当時の先達の熱き思いを継承しながら、今の時代に相応しい充実した活動となるよう県内十六支部との連携を深めながら、取り組んで参りたい。

# 令和六年度 評議員会報告

## 定年引上げに係る福島県公立学校退職校長会則の一部改正について

創立六十年記念第五十八回県大会二本松大会について  
第五十回東北地区退職校長協議会福島大会について  
記念誌「60年のあゆみ」作成について

令和六年度評議員会は、令和六年四月三十日(火)、福島市吾妻学習センターで開催された。なお、会に先立ち、福島県教育庁社会教育課長小林 雄様より「本県の社会教育について」という題で講話をいただいた。

### 一 会長あいさつ

### 二 報告

- 定年引上げに係る福島県公立学校退職校長会則の一部改正について
- 令和五年度事業報告について
- 令和五年度会計決算報告について(本頁下の通り、ぬくもり基金は三頁下)
- 慶弔関係について
- ・令和五年高齢者叙勲三十七名(前年比二十一名減)
- ・令和五年度物故会員百四名(前年度比十五名増)

○新入会員加入勧誘予定者数について

- ・小学校五十三名・中学校三十九名・高等学校十六名・特別支援学校二名、計百十名(前年度比二十名減)

○新入会員の勧誘並びに事務手続きの確認について

○感染症にかかるガイドラインについて

○第五十回東北地区退職校長協議会福島大会について

・期日：令和六年十月八日(九日)

・会場：ホテル福島グリーンパレス

○福島県公立学校退職校長会記念誌「60年のあゆみ」作成について

○能登半島地震義援金について

### 三 協議

協議のうち、下記の項目は原案のとおり承認された。

○令和六年度活動の重点目標(案)について

(重点目標は三頁参照)

・福島県公立学校退職校長会運営ビジョン(案)

・福島県公立学校退職校長会デジタル化(DX)ビジョン(案)

・社会貢献活動推進概念図

○令和六年度事業計画(案)について

○令和六年度予算編成の方針(案)、会計予算(案)について

(予算は本頁左の通り)

○創立六十年記念第五十八回福島県公立学校退職校長会二本松大会について(案)

○令和六年度要望活動(案)



評議員会の様子

について

・令和六年度教育懇談会開催要項(案)について

### 四 事務連絡

○令和六年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当会員名簿、令和六年高齢者叙勲該当者名簿について

○令和七年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当者名簿の調査について

○令和六年度「支部事務の手引き」について

○会員名簿の作成及び配付方法について

○福島県公立学校退職校長会ホームページについて

## 令和5年度会計決算報告

収入総額	4,554,353円
内訳	
・会費	3,624,300円
・雑収入	80,011円
・繰越金	850,042円
支出総額	4,076,458円
内訳	
・会議費	557,504円
・事務費	473,700円
・事業費	1,891,034円
・会費・負担金	999,440円
・積立金	150,000円
・予備費	4,780円
差引残額	477,895円

※差引残額は次年度への繰越金とする。

## 令和6年度会計予算書

収入総額	4,100,895円
内訳	
・会費	3,543,000円
・雑収入	80,000円
・繰越金	477,895円
支出総額	4,100,895円
内訳	
・会議費	579,000円
・事務費	480,000円
・事業費	1,872,000円
・会費・負担金	995,000円
・積立金	130,000円
・予備費	44,895円
差引残額	0円





令和6年度 福島県公立学校退職校長会役員名簿

(令和6年4月30日現在) (敬称略)

Table with columns for roles (顧問, 会長, 副会長, 監事, 評議員) and names of members across various regions (南会津, 相馬, etc.).

令和五年度 理事会報告

令和六年三月六日(水)、令和五年度の理事会が福島市吾妻学習センターで開催され、報告事項、協議事項とも了承された。なお、会に先立ち、福島県教育庁教育総務課長 堀家健一様より、「福島ならではの学びの変革を目指して」という題で講話をいただいた。

◆主な報告事項

- 福島県公立学校退職校長会会則(組織)第4条の一部改正
第五十七回郡山大会
令和五年度事業報告
令和五年度会計決算中間報告、令和五年度ぬくもり基金中間報告
令和五年度新入会員数及び会員数
慶弔関係
福島県公立学校退職校長会ホームページ
第五十回東北地区退職校長協議会福島大会
記念誌「60年のあゆみ」作成
クラブ活動状況調査報告書

- 能登半島地震義援金
◆主な協議事項
令和六年度活動の重点目標(案)
令和六年度事業計画(案)
令和六年度予算編成の方針(案)、令和六年度会計予算(案)
創立六十年記念第五十八回福島県公立学校退職校長会二本松大会
令和六年度「要望活動」の方針(案)
令和六年度教育懇談会実施要項(案)

◆連絡事項

- 令和六年度「寿詞・賀寿・賀詞」該当会員名簿、令和六年高齢者叙勲該当会員名簿



理事会の様子

講話

「福島ならではの学びの変革を目指して」

福島県教育庁教育総務課長 堀家 健一様



- ①学びの変革推進プラン
②福島県の教育と現状
③福島ならではの学びの変革を目指して
児童生徒の学力向上
教員のICT活用指導力の向上、ICTを活用した学びの変革
不登校対策
児童生徒の運動習慣形成
豊かな心の育成
※詳しくは、本会ホームページをご覧ください。

お詫びと訂正

「松風」第一九一号に誤りがありましたので、訂正方お詫び申し上げます。
◆四頁《趣味と生きがい》一段目

誤…(益略手前)
正…(益略点前)